

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 令和7年度 R8年 2月 20日提出

法人名	社会福祉法人 健康会	代表者	田崎 健治
事業所名	小規模多機能 ほおずき	管理者	山田 和美
法人・事業所の特徴			

福井市西部に位置し、足羽川などの川があり、野鳥が軒下に巣作りするなど自然豊かな環境にあります。 地域密着型介護老人福祉施設と一体となった施設に1階にあり、納涼祭や文化祭、避難訓練など合同実施や各種委員会の開催など協力体制の中でサービス向上に努めています。 ジョブ・センターなど社会資源が多くあり買物など気軽にいったり畑で野菜作りをし調理などで生活リハビリの一環としております。 毎月地域のデイホームに足を運んだり、地区の体育祭に参加したり、地域交流をしています。
--

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	1人	1人	0人	4人	0人	8人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・「出来ていない」が多い項目に 関しては、職員間で話し合っ て改善計画を立て意識づけ していく。	・事業所自己評価をファイ リングし目を通してもら う事で、改善計画を意 識づけ出来ている。	・毎年、事業者評価を行 っているから、新しい気 づきがあるが良 い。 ・事業者評価を行う事 で、新人職員が出来てい ない部分を把握できる 為、指導がしやすい。	・事業所自己評価のファイ リングは継続していく。 ・事業所自己評価の出来 ていない点に注目し、指 導していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・引き続き、環境整備をし、 明るく、清潔感のある玄 関にする事で入りやす く。	・明るく、清潔感のある玄 関になり、又、スリッパ 置きを設置する事で整頓 できた。	・玄関の両端に花があると 明るく、いいのではない か。 ・東安居小学校の卒業生 が花を寄贈してくれてい るから、東安居苑もどう ですか？という意見あり。	・引き続き、環境整備をし、 清潔感のある玄関にする 事で、入りやすい事業所 にしていく。 ・明るく挨拶を行って いく。
C. 事業所と地域のかかわり	・地域の行事にも参加して いく。 ・地域の方と会ったら、笑 顔で挨拶し、地域の方と の顔なじみの関係を築 いていく。	・地域の行事（福祉体験、 もちつきや大正琴のボラ ンティアなどの関わりを 持った）に参加出来て いる。 ・地域の方と会ったら、 挨拶できている。	・施設に関わっている人 は相談しやすいが、一 般の人には分かりづら い。	・地域の行事に積極的に参 加し、事業所の事をよく 知ってもらう。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	・地域の行事に参加し、関わりを増やしていく。 ・利用者のレベルに合った地域行事を調べる。	・地域の行事（デイホーム、防災訓練）に参加し、関わりが増えている。	・事業所自己評価の1～9の項目を見ただけでは事業所がかわっているかは分からない。 ・小規模とは一人一人にあったサービスを提供している。	・利用者のレベルに合った地域行事に調べ、参加し関わりを増やしていく。 ・個々に合った地域資源を活用していく。
E. 運営推進会議を 活かした取 組み	・運営推進会議の内容を、他の職員にも伝え情報を共有し把握していく。 ・運営推進会議で地域の方の意見を聞くことでサービス向上につなげていく。	・運営推進会議の内容を書面では回覧しているが、ミーティングでは直接伝える事が出来ていないので、情報を共有できていないかは分からない。	・地域の方の意見を聞くことは、サービス向上に繋がると思う。	・回覧だけではなく、ミーティングで運営推進会議の内容を言葉で発信し、情報を共有していく。
F. 事業所の 防災・災害対策	・携帯アプリのBANDを活用し、迅速に行動できるようにする。 ・福祉避難所として災害時に、迅速に受け入れが出来るように、各職員が事前に把握しておく（非常災害対策委員会での勉強に参加していく）	・BANDを活用できている。 ・施設内の防災・風水害・防犯訓練を行い、災害が起きた際に、迅速に動けるようにしている。	・地域の方から、東安居苑の防災訓練にも声をかけてくれれば参加しますとの事。防災士の立場からアドバイスできるとの意見あり。 ・避難所マニュアルを地域で作っておかないといけない。	・地域の方に施設の防災訓練に参加してもらう。 ・福祉避難所として災害時に、迅速に受け入れが出来るように訓練していく。 ・東安居地区の避難所は小学校になっている事を、東安居地区の利用者に周知していく。